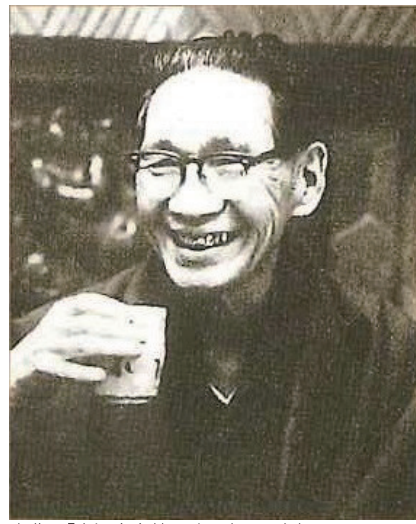




よねかわ まさお
米川 正夫氏
(1891年～1965年)



出典：「高梁市市勢要覧」（2002年）

米川正夫は高梁市間之町で質屋を家業とする家の四男として生まれました。高梁中学校時代に「文章世界」に投稿し、内田百

閒らと親交を深めていいます。岡山県と同郷ということもあり、内田百閒とは終身の親交を続け、同じ趣味である箏曲を通じて、「桑原会」を結成。演奏会も開催しています。18歳の時、東京外国語学校（現東京外国語大学）ロシア語本科に進学しました。在学中に「露西亜文学」を創刊しています。

米川正夫は日本におけるロシア文学の紹介者として、昭和世代にとってロシア文学を読むことは彼の翻訳を読むことであつたと言つても過言ではありません。ロシア文学の主立った

作品は、正夫が翻訳しており、ロシア文学翻訳では質量ともに最も評価されています。「ドストエフスキイ全集」「トルストイ全集」など多くの翻訳を手がけたほか、「ロシア文学史」「トルストイの文学」「ドストエフスキイ研究」など多くの著作も残しました。

正夫の妹には人間国宝で日本芸術院会員、文化功労者である初代米川文字がいます。父の先妻の娘である貞が箏曲家であつたこともあり、多くの兄妹たちが箏曲家であり、正夫も琴以外に三絃、尺八を嗜みました。

今号の表紙

高梁市立高梁中学校

高梁中学校の体育館で「高梁未来学」（3年生）の最終発表会がありました。高梁未来学は地域を学習の場とし、地域と協働して地域の未来と自分の将来・生き方について考える学習です。地域貢献について28グループが発表を行いました。地域の課題解決についての発表も多くされていたこと、全校生徒の前での発表に緊張した姿が印象に残りました。



発表を聞いての感想

12月の定例会スケジュール

11/29	金	本会議（議案の上げ）
12/ 5	木	本会議（一般質問）
6	金	本会議（一般質問）
9	月	本会議（一般質問）
11	水	本会議（議案質疑）
12	木	委員会
13	金	委員会
16	月	（委員会予備日）
19	木	本会議（採決）

※12月定例会への請願・陳情の締め切りは11月21日（木）までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！ 有権者が求めることも 禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

議会広報公聴特別委員会
委員長 森 和之
副委員長 金尾 恭士
委員 石部 誠
委員 森上 昌生
委員 伊藤 泰樹
委員 新倉 淳
委員 平松 久幸

8年振りに高梁市議会議員選挙の投票が行われ、市民の皆様により新しい議員が選ばれました。議会だよりの編集に携わっていたメンバーも次号から新しくなります。年4回の定例会後約一か月間、メンバーは議会だよりの編集に当たります。市民からは見えない議員の活動といっても言い過ぎではありません。一期目から議会だよりの編集に携わらせていただき、皆様が読みやすく理解しやすい議会だよりの目指して編集作業を行ってまいりました。次回からどのようなメンバーになるかわかりませんが、一人でも多くの皆様に読んでいただける議会だよりに楽しみにしていきたいと思います。（森 和之）

